

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2014年5月14日(水) 8:45～11:50
実施場所	久地小学校 プール
スタッフ	熊島(高津区)、小林、二見、池田、石川(TRネット)
実施対象	2年生・5クラス(165名)
実施内容	学校のプール清掃にあたり、ヤゴの救出

1 事前準備

- ・プールの水の排水
- ・衣装ケース、バケツ、金魚網の設置

2 実施内容

- (1) 挨拶、スケジュールの確認
- (2) 安全、注意事項説明
- (3) A班、B班二つのグループに分かれる。
A班は最初にプールに入りヤゴを救出。掬ったヤゴはプールサイドにあげる。
B班はプールサイドに上げられたヤゴをバケツやに選別。
15分後ABは交代。
- (4) 救出したヤゴの解説。飼育方法の解説。
- (5) 質疑応答、まとめ。

ヤゴの一部はビオトープに放流、一部は教室・自宅等で飼育も試みる。

見つけた生物 池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

●ビオトープ

ネキトンボ、ギンヤンマ、アジアイトトンボ、ユスリカsp幼虫、

問題点・気付いた事・その他

- ・ギンヤンマのヤゴが多数見られた。しかしギンヤンマが羽化する場所がプールには少ないため、羽化直前のヤゴが死んでしまっていた。プールにギンヤンマを呼ぶには、羽化をすることができる杭等を立てる必要がある。
- ・ネキトンボが圧倒的に多かったが、アジアイトトンボ等他の生きものが見ることができた。
- ・児童が活動する時間をできるだけ長くするためには、プールにスムーズに子どもたちが下りるための工夫が必要。



ヤゴ救出の様子①



ヤゴ救出の様子②



救出した生きものの解説



死亡したギンヤンマのヤゴ



救出したギンヤンマ